



ちば炎の仲間

3月定例

常任理事会を開催

- 第44期決算総会は平成24年5月17日

【山川会長あいさつ要旨】

平成23年度は、東日本大震災からの復興問題にあけくれた1年でありました。

本年5月17日に第44期通常総会がありますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いします。

【議事概要】

議題1 第44期通常総会部の諸準備

事項について (審議事項)

- (1) 通常総会までのスケジュールについて
- (2) 次第について
- (3) 委任状のとりまとめ及び出席者名簿の提出について
- (4) 各委員会事業報告について

議題2 安全機器普及状況等及び1販売店1基

運動進捗状況並びにエネファーム普及に係るアンケート調査について (審議・依頼事項)

事務局より標記報告書を平成24年3月末の状況を4月末までに協会へ提出していただくことを依頼した。

議題3 平成24年度行事予定について

各支部長に保安講習会並びに保険契約更改日の会場予約等の手続きを依頼した。

議題4 総務委員会報告 (報告事項)

①査定1件の会員見舞金1件(弔慰金1件)を報告した。

発行

社団法人千葉県LPガス協会広報部会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781

E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp

毎月10日は保安の日

去る3月8日木曜日、13時30分から千葉県ガス石油会館において、定例常任理事会が開催されました。

第44期通常総会(決算の部)が平成24年5月17日木曜日に千葉県ガス石油会館5階において開催されることとなりました。

②日連共済は、平成24年3月31日で廃止となることを説明し、本年9月30日までに死亡・ケガ等した場合の見舞金等の請求を来年2月末日までに(千葉県協会にはなるべく1月中)お願ひした。

※ 3面を参照してください。

議題5 LPガス安全安心向上

運動について (報告事項)

保安委員会にて承認された標記実施計画の内容について説明・報告した。

詳細については、6月開催の県指定保安講習会にて説明します。

お知らせ!

4月19日の10時から災害時を想定した「情報収集訓練」行います。

- 1 訓練方法 4月定例発送物として送付した「安全機器普及状況等及び1販売店1基1台運動進捗状況並びにエネファーム普及に係るアンケート調査について」の回収方法を伝達し、その報告書が協会へ提出されることにより訓練の終了とします。
- 2 訓練日時 4月19日(木)午前10時
- 3 協会から各支部長に対して「報告書の提出」を呼び掛けます。※
- 4 各支部長は連絡網を用いて全会員に対して情報伝達を行います。
- 5 連絡を受けた会員は、即日地区(ブロック)長へ報告書を提出します。
- 6 地区(ブロック)長は、4月23日(月)までに支部長へ提出します。
- 7 支部長は、4月末日までに協会へ提出します。
- 8 報告書の提出を以て訓練の終了とします。
- ◎ 業種支部会員は、上記1・2は共通です。3以下が次のとおりとなります。
- 3 協会から各支部長に対して「報告書の提出」を呼び掛けます。
- 4 各支部長は同封の連絡網を用いて全会員に対して情報伝達を行います。
- 5 連絡を受けた会員は、返信用の封筒にて報告書を4月27日(金)までに提出します。
- 6 報告書の提出を以て訓練の終了とします。

※詳細については同封の別紙案内「情報収集訓練のお知らせ」にてご確認下さい。

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう

お知らせ コーナー

CHIBAちば

千葉県商工労働部保安課
保安対策室

日頃から保安行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。東日本大震災から1年が経過し、県内の被災地においても復興に向けた取組みが進められておりますが、関係者の皆様には引き続きご支援をお願いします。

保安課では平成23年度液化石油ガス販売事業者等立入検査を平成23年9月から平成24年2月にかけて137の販売所等に対して行いました。その結果、59(43%)の販売所等に対して文書による改善を通知しました。この他にも口頭による改善の指示をしています。法令の遵守や消費者の保安確保に支障を来しますので、各販

売店におかれましてはこのようなことのないよう業務を行ってください。なお、文書による改善を通知した主な内容は次のとおりです。

1 販売事業

- (1) 業務主任者再講習の未受講
- (2) 質量販売に伴う14条書面の未交付

2 保安業務

- (1) 消費設備調査の不適合について
消費者へ未通知及び再調査未実施
*移動式燃焼器以外の燃焼器と末端ガス栓とのゴム管接続(禁止です!)

(2) 定期供給設備点検・調査の未実施(遅れ)

(3) バルク供給に係る供給設備点検の未実施(不備)

3 設備工事

- (1) 液化石油ガス設備士再講習の未受講

4 県への手続き

- (1) 液化石油ガス販売所等変更届書(保安機関の変更、貯蔵施設の変更等)の未提出
- (2) 業務主任者等選任(解任)届書の未提出
- (3) 特定液化石油ガス設備工事事業変更届書(設備士変更)の未提出

平成23年度

県内LPGガス事故中間報告

平成23年度における平成23年4月1日から平成24年2月1日現在までに会員から協会に報告のあったLPGガス事故は、9件ありました。事故概要を下表のとおり掲載致しますので、皆様方のLPGガス事故防止のための参考としてご活用下さるようお願い致します。

発生場所	事 故 詳 細
1 茂原市	空地において、付近住民より草刈り中に配管を損傷させたとの通報を受け、販売事業者が出動したところ埋設供給管(ポリエチレン管)の立ち上り部が損傷していることを確認した。原因は、当該空地は長年の雨風で土砂が流れてしまい、埋設供給管の立ち上り部が露出しており、付近住民が草刈り機で誤って埋設管立ち上り部を損傷し、ガスが漏えいしたもの。(付近住民不注意)
2 匝瑳市	共同住宅屋外において、近隣住人からガス臭がするとの通報を受け、販売事業者が出動したところ、配管用フレキ管の損傷を確認した。原因は、共同住宅所有者に依頼を受けた草刈業者が草刈機で配管用フレキ管を破損したためにガスが漏えいしたもの。(他工事業者不注意)
3 大網白里町	二世帯住宅において、こんろを使用中に未使用ガス栓が焼損したと連絡があった。原因は、住人がこんろ使用時には日常的に未使用ガス栓も開放して使用していたため、漏えいしたガスにこんろ点火時の火が引火したもの。未使用側の末端ガス栓には、ゴムキャップが不完全な状態で取り付けられており、誤開放した際にヒューズ機能が働く程のガス漏えい量とならなかった。(消費者不注意)
4 市原市	共同住宅の空き家(2世帯)のガスマーター手前の中間コックが経年劣化したことによりガスが漏えいした。(その他)
5 船橋市	50kg容器4本を2本に変更するため、撤去する2本を連結管から外し、残りの2本の連結管を簡易切替装置に変更したところ、自動切替調整器の入り口圧力が下がり、容器を撤去した側の連結管からガスが漏えいした。一部調査中(業者不注意)
6 富里町	防蟻工事のため工事会社が共同住宅の土間コンクリート下に防蟻剤を注入するため、土間コンクリートを電動ドリルで穴を開けていたところ、誤って埋設配管を損傷させてしまいLPGガスが漏えいした。(他工事業者不注意)
7 袖ヶ浦市	20kg容器2本の供給設備の左側の容器が高圧ホースと未接続であったため、右側の容器のガスが自動切替調整器を通して、左側高圧ホースの先端より漏えいした。容器が接続されていない状況でも、左側高圧ホースから漏えいすることはないが、消費者が燃焼器具を燃焼させたことによって、この機能を逸脱したため漏えいした。一部調査中(業者不注意)
8 袖ヶ浦市	電気工事作業中にバックホールで掘削作業を実施していた。ガス臭がしたため、屋外埋設管を調査したところ継手部分からガスが漏えいした。電気工事業者が掘削作業中に誤って埋設配管を損傷させた。(他工事業者不注意)
9 九十九里町	一般住宅において消費者が風呂釜を使用中に火災が発生し、当該風呂釜を焼損する事故が発生した。原因調査中(不明)

業務用施設へのCO警報器100%設置

青年委員会便り
創エネハウス・みらいエコリフォームセンター
有限会社 小林燃料店 小林誠

平成23年11月18日(金)に青年委員会の研修にて、横浜市港区のエネオス『創エネハウス』と東京都江東区東雲の橋本総業株式会社『みらいエコリフォームセンター』をそれぞれ見学させて頂きました。

今回は、エネルギー問題と二酸化炭素削減と言うセットの様な問題がテーマですが、私自身が大変不得意な分野で有りまして、また大変に勉強にもなりました。

まず、エネオスさんの『創エネハウス』に行きました。この施設には、現在最良とする省エネ機器(ガス、灯油、太陽光を熱源とする)や創エネ機器(発電機器)、省エネ素材が、展示されています。

単に展示施設だけでなく、実際に社員さん家族に住んで頂き、データの収集を行い家族構成によって、どの省エネ機器の組み合わせが最も効率的か?など、実証実験を行うとの事です。その為にコンセント1つ1つの電力使用量から、室温、各機器の発電状況等々、膨大な数のデータを採取しています。

正に『創エネプロジェクト』です。私が、主に関心が有りましたのは、燃料電池と太陽光発電システム、そしてヘムスと呼ばれる端末でした。

ここでは、新旧の燃料電池が展示してあり比較が出来ます。新型では触媒温度が700℃を超えており、発電効率重視との事ですが、冷却水によりお湯を作ると言う方式は同じでした。この機器は、二酸化炭素削減の意味では大変有効ですが、発電の最中に熱も出てしまい、電気と熱を完全に切り替える事が出来ない様です。少人数家族には、あまり有効的でないかも知れません。しかし、将来にこの問題が解決され、熱のみ電気のみが取り出せる様になるなら、二酸化炭素を出さない給湯器や炎を出さないコンロ、大気汚染をしない発電器等々、可能性が益々広がる気がしました。今後に大いに期待したい所です。

太陽光発電システムも又日本の抱

える電力事情を解決に導く一番有効的な手段だと思いました。

日本中の家庭が太陽光発電をしたならば、かなり発電所が楽になるはずです。

ここで、ヘムスと呼ばれている端末にも大変興味が有りました。ヘムスとは?

各エネルギー機器の発電状況などが画面上に表示され、省エネ状況も一眼出来、しかも、二酸化炭素の排出量まで簡易的に見る事が出来る端末です。そして嬉しいのは、二酸化炭素の排出量の増減により画面上のお猿さんが、一喜一憂するのがとても可愛い事です。

様々な機器を見ているうちに、未来的な贅沢とは、創エネハウスの様に自給自足の生活をする事ではないかと思いました。創と言う、全く新しい発想が、『創エネハウス』でした。

【創エネハウス】



次に私達が向かいましたのは、橋本総業さんの『みらいエコリフォームセンター』です。ここでは、実際に商品化されているエコ機器や住宅機器の展示、機器の取り付けの講習等を行っておりました。

ガス器具メーカーであるノーリツさんも太陽光発電の分野に本格的に参入されて、私達にもより身近になってきたと思います。簡単に申し上げますと余剰電力は売電する方式です。

ご説明を聞いているうちに、太陽光で発電する方法はあるものの太陽熱で発電する方式はないものか?と思いました。夏場のソーラーパネルは、焼き肉の鉄板の様に熱くなりますが、熱が電気に変われば夏場の電力不足解消になるかもしれない?などと勝手に考えていました。

また、ハイブリッド給湯器の商品説明もございました。

リンナイさんの一押しの給湯器で

【みらいエコリフォームセンター】



ありまして、小型の電気のエコキュートとガスのエコジョーズが合体した産物です。まるで、ハイブリッドカーのようで、運転方法もよく似ています。起動は電気を使い、慣性系に移るとガスに切り替わるようです。

この給湯器は、未来派と言うより、現代派だと思います。省エネ分野では、これ以上は出来無いと思いました。

今回の研修にて、様々な機器を目りましたが、それが大変に意味のある物だと思いました。そして私自身が、未来に大変興味を持ち、自然エネルギーに付いて考える様になってしまいました。

もしかしたら、遠い将来に植物の光合成の仕組みを科学の力で出来たら、二酸化炭素削減とエネルギー問題も一気に解決出来る…などと幸せな事を考えていました。

この様な研修に参加させて頂き、大変勉強になりました。

※日連共済加入の皆様へ

日連共済事業の廃止について

日連共済は、保険業法の改正により平成24年3月31日で廃止となりました。

従って保険期間をすぎた平成24年10月1日以降に死亡・ケガ等をされた場合は、日連共済の見舞金請求は出来ませんので、ご注意ください。

平成24年9月30日までに死亡・ケガ等をされた場合の日連共済の申請期限は平成25年2月末日(協会にはなるべく1月中に送付願います。)となっておりますので、書類の送付を遅れないようにお願いします。

なお、それに代わる新制度が創設されますので、詳細は後日保険案内等でお知らせします。

支部便り：長東支部**私の住む街 勝浦**

齋藤液化ガス㈱ 齋藤豊久氏

私の住む街は、面前に太平洋・背には山並に囲まれ年間を通して温暖な所です。景勝地として、官軍塚・明治2年函館城征伐に向かった軍船が、嵐に会い座礁し、多数の兵士の犠牲者を弔う。勝浦灯台・八幡岬公園は、植村泰忠公以前の正木那時公が居城勝浦城址であり、正木那時の娘お万は、徳川御三家の紀州徳川頼宣・水戸徳川頼房の生母誕生の地です。鵜原地区には、明治から昭和初期にかけて多くの文豪に愛された理想郷、海中公園、うみの博物館等の施設・景勝に優れた場所も多くあります。釣り好きな方には、10ヶ所に及ぶ港での釣り、磯釣り、舟釣り等楽しめます。夏には部原・墨名・

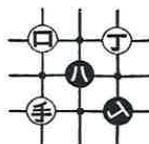
鵜原・守谷・興津海水浴場、特に守谷海水浴場は、日本一綺麗な海水浴場に指定された事もあり、隣接地に800台収容可能の駐車場が有ります。サーフィンの世界大会も行った部原・串浜海岸では、1年を通してサーフィンを楽しむことが出来ます。温暖な所故リゾートマンション別荘地として、人気が高く、数多くの別荘が建てられています。昭和58年には、国際武道大学の開校に伴い、地域の文化向上を目的として、2,000名強の学生が生活しております。勝浦港は、銚子港に次ぐ有数な港で、カツオの水揚げでは、関東一を誇っております。又日本三大朝市の一つ勝浦朝市で有名な町です。勝浦朝市の起源は、天正19年(西暦1591年)、旗本植村泰忠公の「市」開起により開かれ、400余年の長い歴史を持った朝市です。又勝浦は一年を通して色々なイベント

を行っています。1972年から実施の勝浦若潮まつり(8月)花火大会を中心としたイベント。1983年から実施の青空市場を、2001年からいんべやフェスタに呼称変更して市内商店街路上にて開催(11月)2001年から実施の勝浦ビックひな祭り、勝浦市内10ヶ所に約25,000体の雛人形の展示、千葉県内外から25万人の人で賑わう。(2月下旬から3月3日まで)2003年から実施のカツオまつり、(6月「昨年より食彩祭りと呼称変更」)勝浦港において、カツオ・マグロの即売会。他に毎年4月は、植村泰忠公の偉業を偲んでの春祭り・9月は大漁祭りと年間を通じてのイベントを行っています。2005年には、千葉県観光立県モデル推進事業の指定を受けました。

避難所への普段からのLPガス供給の働き掛け！**四街道市防災研修会を開催 四街道市消費者友の会主催****四街道市環境経済部産業振興課・千葉県エルピーガス協会共催**

四街道市消費者友の会(井上ひろ子会長)は、四街道市防災研修会(共催：四街道市環境経済部産業振興課・千葉県エルピーガス協会)を2月9日四街道市総合福祉センターで開催し、会員等50名が参加しました。

消費者友の会より、「災害に強いLPガスについて勉強したい」旨の依頼が当協会にありましたので、全国消費生活相談員でエネルギー問題研究会の大内美喜子会長に講師を依頼し、「避難所への普段からのLPガスの供給について」の講演が行われました。

**復興の温度差**

今年も桜の季節がやってきました。

昨年3月に東日本大震災という大変な事が起き、生活形態が一瞬のうちに変わり、はや一年が経過しましたが、いまだに復興計画も見えず、生活もままならない人達が多くおります。

過日、当協会業種支部の方々の研修会に参加させて頂き、被災地の宮城県仙台市で宮城県エルピーガス協会との災害に対する考え方等を教えていただきましたが、想定外ということで災害マニュアル等は役立たずだったと聞きました。

LPガスの復旧作業に対しては地元の業者は顧客との接点が密であるた

LPガスの供給の少ない首都圏で災害が発生した場合ライフラインの復旧までの間、避難所等の学校・病院等では煮炊きや暖房としてのエネルギーが必須なことから、平常時からLPガス設備の使用または災害対応型のバルクの設置を促進していく事が重要であると述べられました。

この「避難所へのLPガスの供給の働き掛け」は、経済産業省資源エネルギー庁が昨年8月より検討していた、「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方研究会」

め、復旧の速度は大手より速くできたとの報告がされました。やっぱり地元の業者の強みはお客様とのコミュニケーションが大事なことと思い知られました。

翌朝出発時は、各地から視察(?)にきていたバスのドライバーが宿の人々に道路事情を聞いていましたが、石巻方面は大型車の通行は無理だと話していました。私達のバスは仙台市方面に向かって走りましたが、途中の公園広場には津波等によって流されたガレキや車等が公園広場等に何ヶ所にも集積されていました。

もう十数年前のことですが、阪神淡路の震災の時、私達も復旧応援隊として1ヶ月神戸に居ましたが地面に段差があり、鉄骨アパートの1階部分は潰



の最終報告でも提唱されていることであり全国的に注目されています。

災害用バルク等の設置等、学校への補助金制度もあるので、各支部内においても市町村単位での講演をお考えの際は、当協会事務局までお問い合わせくださいますようお願い致します。

され、ビルは傾き道路もまともに走れませんでしたが、1年後にはかなりきれいになっていました。地震と火災、又神戸という地理的条件もあり当時の復興に対する国の方針が違ったのか？今回の東日本大震災は地理的条件、それに津波と原発という目に見えない放射能までプラスされ、またまったく先の見えない国の方針、原発を廃止しても、30年から40年が経過しないと安心できないと・・・それでも原発を継続使用とする人もいる。なにか別な方向性を見出すことができないか。

被災された方が一日も早く元の安心の生活が営まれることを願ってやみません。

横山 一洋 記